

緑西側の地区を中心とする。強会が行われ、地区と同様、高層部に甘んぶることを相

路沿いに木造戸越六丁目越六丁目地区画検討委員

月28日設立)策定に向け、事務員建築公社が担

# 施設

供用期間は20年11月まで

トの西展示棟延べ5万平方

# 実施方針

## 若者に建築の魅力を感じさせる

総合資格学院、東京地区合格祝賀会



総合資格学院(岸隆司学院長)は8日、東京都新宿区のアットトリージェン

格学院を利用することが、合格のために最良であると証明できた。今後も若者に建築の魅力を広める活動を行っていききたい」とあいさつした。

来賓として建築家の伊東豊雄氏、近角真一(東京建築士会会長)、児玉耕二(東京都建築士事務所協会会長)らが祝辞を述べた。伊東氏は「合格を勝ち取って、建築への意欲があふれていると思う。その意欲を忘れず、10年後を見据えた社会に役立つ建物づくりを考えてほしい」とエールを送った。

続いて1、2級建築士の合格者代表に岸学院長が修了証を授与した。

総合資格学院は、同学院を通して1、2級建築士などの資格に合格したOBを対象に、セミナーの開催やOB間での懇親の場の提供などを行う「総合資格学院合格者の会」を今年立ち上げている。

に竣工する。増築棟は東京五輪では使用せず、仮施設と合わせて一般向けに運営する。

新館清掃施設の建設地は館町2700(敷地面積7・2畝)。10年10月に閉鎖した旧館清掃工場跡地に整備する。1日当たりの焼却能力は160ト(ストーカ1式または流動床式焼却炉80ト×2炉)。ごみ処理棟

## 年頭所感

役職員が一丸となって地

# 2018年1月10日 日刊建設工業新聞 (東京会場)

## 引き続き期待に込める

都市再生機構理事長 中島 正弘

ユータウン事業ですが、では、地方公共団体や民間に今後当機構が何をすべきか議論を進め、どのの下、民間事業者との連携を一層強化してまいります。また、我が国の成長戦略・国際展開戦略の一環として、官民が連携して進め

## 強靱な国土とインフラ再生を

水資源機構理事長 甲村 謙友

が必要ですが、大雨や大地震が起こるたびに避難を繰り返しては、経済や文化を含めた社会の持続可能な発展は望めないと思えます。大雨や大地震が発生して



昨今、地震の活動期に入

3000ト×2炉)のごみ処理棟